

タイトル	2020年度推薦入試(特別支援教育専攻) 面接試験における評価のポイント
評価のポイント	<p>面接試験においては、以下の①～③の観点で評価を行う。</p> <p>① 全体的な評価方針</p> <ul style="list-style-type: none">a. 将来教員になれるか否かという観点で面接する。また、教育実習に行くことが可能かどうか、という観点でも評価する。b. 本学部のアドミッションポリシーに、「求める学生像」として以下のような項目が掲げられているので、これらを満たすかどうかを意識したうえで面接する。<ul style="list-style-type: none">1. 教職を目指す明確な意志と情熱を有する人2. 児童・生徒の成長に関わることに喜びを感じられる人3. 周囲とのコミュニケーション能力や協調性を備える人4. 諸課題の解決に向けて粘り強く努力できる人5. 系・専攻に関する事項に関心を持ち、教職を目指すために必要な基礎学力を有する人 <p>② 形式点</p> <p>コミュニケーションスキル、服装、マナーなどのノンバーバルなものを含んだ観点で評価する。「面接」としての最低限度の常識をふまえているか否かをみる。これは、現段階で1年次に実施される教育実習(教育現場体験学習)に行けるか否か、という点を含めて判断する。</p> <p>③ 内容点</p> <p>上記のアドミッションポリシーの1.～5.の一部に合致する人物か否かについて特に内容的な面で評価する。その際、アドミッションポリシー「5.」に重点を置き、特別支援教育に携わる教員(またはそれを志す学生)の資質等に照らし合わせながら評価する。</p>